

メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 会報メール 第40号

[2012年3月号]

メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第40号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ/ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を毎月中～下旬ごろ、会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<目次> [ページ]

平成24年度総会および活動報告会のお知らせ	[2]
JAM スタディツアーのお知らせ	[3]
メソトマンスリー	[4]
国内から (加藤 好美)	
・ 5周年	[6]
国際保健医療協力のなかで (16)	(小林 潤) [7]
編集後記	[8]
次号の予定	[8]



平成24年度総会および活動報告会のお知らせ

1. 日時 平成24年5月20(日) 13時30分～17時

- ・総会 13時30分～14時30分
- ・報告会 14時30分～16時
- ・懇親会 16時～17時

*総会へ参加していただけるのは賛助会員の方のみです。
報告会はどなたでも参加できます。

2. 場所 JICA 地球ひろば 3階 セミナールーム301号室
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24
東京メトロ日比谷線 広尾駅下車(3番出口)徒歩1分
地図 <http://www.jica.go.jp/hiroba/about/map.html>

3. 内容

*総会 事業・会計報告

*活動報告会

「院内感染予防への取り組み ～メータオ・クリニックから病院へ～」
当会はクリニックと共同で院内感染予防対策の活動に取り組んでいます。
今回は、現地スタッフの前川由佳よりクリニックで実施している院内感染予防対策の現状
と今後の課題について報告します。

4. 定員 先着60名

5. 参加費 総会・報告会：無料
懇親会費：1人500円

6. 申込み

参加ご希望の方は、(1)氏名 (2)住所 (3)電話番号 (4)所属 (5)懇親会参加ご希望の有無をご記入のうえ、前日までにメールでご連絡ください。

support@japanmaetao.org 担当：淵上

尚、総会または報告会のみご参加の方はその旨をご記入ください。

皆様のご参加をお待ちしております。



JAM スタディツアーのお知らせ

平成24年7月にスタディツアーを開催することとなりました。
めったに見ることのできない難民キャンプにも、足を運びます。
実際にJAMが活動している場所で現地の様子を見てみませんか。

参加してみたい、興味がある、詳しく聞かせてほしい等、お問い合わせは、
support@japanmaetao.org 担当：渡辺 まで
メールのタイトルに「スタディツアーの件」と記入の上、お気軽にお問い合わせください。

○ツアー期間○

平成24年7月29日（日曜）～平成24年8月4日（土曜）

○スケジュール○

- 7月29日（日）：朝、成田空港集合。成田11時発、バンコク16時着、（ディナー、
夜バスでメーソットに移動
- 7月30日（月）：朝メーソット着、メータオクリニック見学
- 7月31日（火）：支援をしている学校の見学
- 8月1日（水）：支援をしている学校の表彰セレモニー
- 8月2日（木）：難民キャンプ見学
- 8月3日（金）：朝バスでメーソット発、夕方バンコク着、（バンコク解散も可、）
バンコク22時発
- 8月4日（土）：羽田7時着、解散

- *飛行機の時間・到着空港（羽田・成田）等は変更となる可能性があります。
- *使用する航空会社は、未定です。東京からバンコクへは、直行便を利用予定です。

○価格○

130,000円

ただし、飛行機チケットをご自分で取られる方は60,000円。

○備考○

上記日程は、JAMスタッフ（日本人）が添乗します。

3日（金曜）にバンコクにて解散も可能です。

その場合、航空券の値段が変動する可能性がありますのでご了承ください。

ツアー代金に現地でのバス代・宿泊費、難民キャンプ入場料は含みます。

食費・お土産代、空港使用料、空港までの交通費などは含みません。



メソトマンスリー



院内感染予防活動： 手洗い推進キャンペーン実施中！

【メソト＝前川 由佳】

メータオ・クリニックには、一代目現地スタッフ梶が発起人となり建ち上がった IPU(Infection Prevention Unit: 感染予防部部署)が存在します。

こちらでは、クリニック内で使用するガーゼやコットン、様々な医療器械の滅菌と管理を担当しています。洗浄室で使用済みの器械の洗浄を行い、滅菌室にある2台の滅菌器械(オートクレーブと呼ばれる蒸気滅菌機)で滅菌、保管室で空調管理の下、使用するまで滅菌を保つよう管理されています。

様々な治療、処置が行われているクリニックですが、この部署での管理によって患者さんに使用される物品は清潔に保たれ、院内での感染を予防する、大きな役割を担っています。

さらにこういった物理的な管理以外に、病院全体での感染対策にあたっているのが、ICT(Infection Control Team: 感染管理チーム)です。

IPU のマネージャーがチームリーダーとなり、各病棟から1名感染管理責任スタッフを選出、総勢10名程のメンバーが在籍しています。もちろん私もこのチームに参加。クリニックスタッフと共に定期的に院内を巡回し、感染予防についてスタッフへの声かけ、問題点の抽出と改善策の検討、ワークショップの開催などを行っています。

しかし、クリニック内で感染管理に割り当てられる予算は限られているため、設備や物品の不足が目立っていました。

巡回して、どんなに手洗いが大切だと言っても…

「手洗い場が壊れていて使えないよ。」「石鹸もないし、手を拭くタオルもないよ。」と。

そこでこの度、みつばち倶楽部様から頂きました助成金を下に、“手洗い推進キャンペーン”を実施しました。

JAM 特製 InfectionControl T シャツ (下の写真をご覧ください) を身に纏った ICT メンバーが、各部署をまわり、総数800枚ものタオルを配布、手洗い場に手洗いポスターを貼ってスタッフにアピールして回ります。大量のタオルとポスターを抱えて歩きまわる水色の集団に、スタッフも患者さんも何をしているのか、と振り返っていきます。

手洗い環境の整備と啓蒙活動、それがこのキャンペーンの目的。

手洗い場の環境が改善されたことは第一ステップです。

今後、どのようにスタッフが院内感染を意識し、行動に反映されていくのか、それはもっと大きな課題となっていくでしょう。

しかし、このキャンペーンを通して水色メンバー＝ICT メンバー、私達が院内感染を担当しているのだということを示せたことは、今後も続いていく院内感染への取り組みにとって大きな役割を果たしていくことと思います。





「私達が ICT メンバー!!!
このクリニックで、その病棟で、院内感染を予防すべく活動しています。」



ポスターここでいいかなあ、いや高すぎて見えないよ
ポスター貼りつけ作業中



各部署への配布完了!!

きょうのゆめ

今日の主役はミーモエちゃん、7歳です。

お父さんがヘルニア手術を受けるため、家族みんなでビルマ国内の村から車でメータオ・クリニックにきました。お父さんの手術も無事に終わり、1週間の滞在を経て、明日村に帰ります。

村の幼稚園に通うミーモエちゃん、学校の先生が大好き！英語の勉強が大好き！なので、

やっぱり将来の夢は…学校の先生。

病棟滞在中は、弟くんと一緒にテレビを見たり、外で元気に遊んだり、いつもキュートで元気な笑顔を見せてくれます。

インタビューをしてみると少し困った様子、、、カメラを向けると少し緊張した表情、、、でも最後はいつもの笑顔で、またねっ！と元気いっぱい手を振ってくれました。

きっと村でいっぱいのお友達がミーモエちゃんの笑顔を待っているね。



気をつけて帰ってね！

外科病棟で家族みんなで過ごしていました ピンクがよく似合うミーモエちゃん



国内から

5周年

【東京＝加藤 好美】

いつも「メータオクリニックを支援する会」をご支援して頂きありがとうございます。

皆さまの温かいご支援のおかげで、5周年を迎えることができました。

私が当会に参加したのは発足した直後からでした。当会に参加して、私はたくさんのご学ばせて頂いて感謝しています。

今回は私が経験させて頂いたことを振り返りながら、当会の活動内容や素敵な仲間の人達について、少しご紹介をさせて頂きたいと思います。

私が主に関わらせてもらっている活動は、学校保健活動です。

実は・・・私は、まだ1度も現地行ったことがありません。現地に行ったことはありませんが、現地スタッフと連携を取りながら、小学校のニーズを把握できるように努めて、校舎建設支援したり、助成金の申請書を作成などをしたりしています。

支援させてもらっているホープスクールは、皆さまの支援のおかげで、素敵な校舎に生まれ変わることができました。そこで学ぶ子ども達の笑顔は最高に可愛いです♪微力ですが、子ども達の笑顔に関わることができて、ありがたく思っています。感謝。

最近、初めて助成金の申請書を仲間の人達と協力して作成しました。初めてだったので、申請書作成方法がまったくわかりませんでした。しかし、小林代表をはじめ国際協力経験者の人達にアドバイスをもらいながら作成することができました。作成をしていく中で、現地のニーズを把握したり、実現可能性や資金について考えたり、学ぶことが多かったです。今回の助成金申請結果は、不合格でした。残念な結果でしたが、不合格を落ち込む私に「今回の助成金をもっと他に支援が必要なところがあっただけ」と慰めてくれた仲間の人がありました。申請書作成を通して、申請書の書き方を学び、素敵な仲間にも困まれていることに改めて気がつくことができました。私にとっては貴重な体験となりました。今回学んだことを、現地の人達につながるように、今後努



力していきたいと思います。

私が当会に参加して魅力を感じていることは、現地メータオクリニックで活躍した梶さんと田辺さん・活躍中の前川さん・今後活躍する田畑さんとの出会いです。夢や目標に向かって努力して、叶える力を持っている女性は本当に素敵だと思います。すごく良い刺激をもらっています。

5月20日の総会には、みんな参加予定です。もしお時間の都合がつかうようでしたら、ぜひ素敵な女性達に会いに来てください。

今後も素敵な仲間の人達と協力しながら、活動を続けていきたいと思っています。みんな学業や仕事をしながら活動を続けています。至らないこともあるかもしれませんが、今後とも温かいご支援をよろしくお願い致します。支援して下さる皆さまと、メータオクリニックの人達が幸せに暮らせますように。皆さまに心より感謝しています。

国際保健医療協力のなかで (16)

【東京＝小林潤】



—南周りの薦め—

最近、聞かなくなったが、昔航空機の飛行時間が少ないときにヨーロッパには日本から直行便はなかった。アラスカのアンカレッジ経由の北回りが主流であったが、バンコクや中東経由は南周りといわれていた。この南周りは時間がかかったり、治安の問題で人気はなかったが、バックパッカーの間では安価で、魅力的な地域を経由するのでこの南周りが活用された。

最近、アフリカに渡航するには近年この南周りをよくつかっている。最近までは過去アフリカ各国の宗主国であったフランスやイギリス等を経由した北回りが主流であったが、バンコクだけでなく、ドバイ、ドーハといった中東諸国経由が主流になりつつある。中東各国のエアラインは昔のように安かろう・悪かろうではなく、今は快適且つ安価で乗り継ぎの不便も少ない。さらに原油高のなか燃料チャージがとられるエアラインも多いが、殆ど付加されない。

私が、南周りを推薦するのは実はこれらの理由だけからでない。

アフリカまでにたどり着くまでに、世界を実感できるからである。大航海時代の前からアラブ地域はアジアとアフリカ・ヨーロッパの架け橋になっており、その間の物の売買で生計をたてており、また文化をも運んでいた。世界のある意味中心であった時代もあった。今この南周りに乗ってみると、ドバイやドーハまでは、商用の中国系・インド系・アラブ系を始め、出稼ぎのインドネシア・バングラデッシュ・フィリピンの国々の人を多くみかけ、アフリカ人もアジア各国までビジネスにきていることがわかる。中東を超えると、アフリカ系、アラブ系を中心だが、中国系はビジネスだけでなく労働者を近年多くみかける。近年の世界の勢力地図がどう動いているか、肌で実感できる。

この肌で感じるというのは、私には大切なことになっている。「日本人は優れた人間で、南の国々になにかをしてあげられる」といったような驕りを完璧になくしてくれるからだ。日本はアジアの小国でアジアの東のはずれに位置している。これらの人の流れのなかで決してMajorityではないのである。こういうなかで「自分自身はなんなのか、自分がなにを伝えられるのか。」こういうことを考えられるようになった。日本人であるが、世界のなかの一人でもありその責任があるということ。



